



令和4年度 神奈川県立多摩高等学校 第5回学校運営協議会議事録

日 時：令和5年3月9日（木） 15:00～16:15

場 所：多摩高等学校 会議室

出席者：学校運営協議会委員5名（代理出席含む） 校長、副校長、教頭、各 GL

1 開会

校長挨拶

- ・入学者選抜は高倍率（1.78倍）、第65回卒業式を実施
- ・令和4年度の教育活動の概要について
（SSHメラーボプロジェクト部創部、チューター制度継続、姉妹校締結等）

2 協議

a 令和4年度学校評価最終報告（各 GL）

（学事グループ）

- ・新カリ移行は順調に進んでいるが、3年次の授業展開や時間割が複雑になることが予想されるため、シミュレーションしている。
- ・1人1台端末に係る副教材を一部の教科で導入済み。費用対価効果を引き続き検討する。
- ・夏期講習・土曜講習については、生徒の受講しやすさなどを考慮し、講座の内容によりオンライン講習も検討したい。

（学校経営推進グループ）

- ・魅力特色アンケート結果で生徒の学校生活に対する満足度が高いことが判明した。
- ・探究活動活性化のためにSSHメラーボプロジェクト部を発足させた結果、取り組む生徒や活動の機会が昨年よりも増加した。探究活動に係る外部連携事業も推進できた。
- ・本校を訪問せずとも施設・設備を見られるようにホームページにバーチャルツアーを掲載した。

（キャリアガイダンスグループ）

- ・GTECは英語スピーキング能力の伸長が見られた。大学教授及び社会人による出張講義、知の探訪、チューター制度、出願検討会の実施等、生徒の進路指導をきめ細かく行った。
- ・新たに「駿台 atama+」を導入する。総合型選抜の生徒も引き続き支援していきたい。

（生徒支援グループ）

- ・近隣苦情は減少したが、自転車通学のマナーについては、引き続き指導が必要である。
- ・生徒のメンタルケアについては、外部機関とも連携し効果的に行うことができた。

（学校管理運営グループ）

- ・防災避難訓練はこれまでに1回実施。年度末に向けて地域と連携した訓練を実施する。
- ・職員会議資料を事前に全職員にメール配信し、ペーパーレス化に努めた。
- ・各授業使用教室へのプロジェクター配備が完了した。

（企画会議）

- ・「働き方改革」に係る職員研修を実施。課題解決に向けた対策を講じて行く。

b 令和4年度学校評価最終報告・質疑応答及び令和5年度に向けた意見聴取

(近隣中学校長)

- ・理化学研究所との連携事業はどのようなものか→天然酵母を使った研究

(PTA 会長)

- ・天然酵母を使ったパン作り等、探究活動の成果が社会貢献に繋がることを期待する。海外教育機関との共同研究希望者増は教職員の努力の賜物である。
- ・地域貢献活動に PTA ができることがあれば協力したい。教員の働き方改革は進めて欲しい。PTA 広報誌は学校教育活動を知る良い手段である。

(同窓会長代理)

- ・「神奈川カーブ」とは何か？多摩高校の生徒にも当てはまることなのか
→ある業者のリサーチからそのような傾向が本県にあると聞いている。本校に限った話ではない。
- ・英語スピーキング能力の伸長が見られたという話があったが、国語力はどうか。
→実社会でも役立つ国語力をつけさせたいと指導している。

(町内会長)

- ・メラーボプロジェクト部が好評とのことだが、1年生の取組はどうか
→集会で希望者を募り、やる気のある生徒が集まった。プログラミングやスポーツ科学に取り組む生徒もいる。

(学識者)

- ・令和4年度の取組はどれも素晴らしい。学校生活満足度アンケート結果も頷ける。一方、職員の負担増が心配である。学校運営協議会で情報共有できれば、委員も課題解決に協力する用意がある。

3 その他

次回の開催について

- ・令和5年5月 令和5年度学校目標設定についての意見聴取→日程は後日周知する。

4 閉会

第3回キャリア部会・地域部会 16:00-16:15

連絡・報告事項

- ① 第65期生進路状況について
- ② 第2回防災避難訓練について